

目次

特集	2・3
生活クラブ虹の街 小規模保育 おおたかの森	
ミニ特集	
仲間づくり	4
こんにちは！赤ちゃん♪ せっけんプレゼント	5
第42回通常総代会傍聴	6
活動ファイル	6・7
ビオサバ基礎講座 GMOフリーゾーン全国集会 in 東海 「子どものため」は誰のため 『日本と再生』上映会	
ブロック活動ファイル	8・9
にじいろマルシェ フォーラム発表会 親子でせっけんの街工場見学 年度末活動報告会&サクスデー フォーラム合同発表会 防災食クッキング	
千葉グループ お知らせ	10・13
生活クラブ風の村 NPO クラブ VAIC-CCI UWNちば くらしと家計の相談室 W.Co	
イベント・情報	14
クラブちゃん / 申込書	15
5月のデポー	16



生活クラブ虹の街 小規模保育
おおたかの森

4月2日、入園式を迎え開園しました。
開園記念式典、園内ようすは2～3ページ。

組合員の皆さんに3月理事会の報告をします。

1. 個配未配送地域検討プロジェクトを設置し、遠隔地への配送の仕組みについて検討します。
2. デポーの情報物(『生活と自治』・集金ハガキ・デポーカレンダー・『コルザ』・企画案内ちらし・共済ちらし等)をエリア内(基本半径1km圏内)の組合員に届ける情報配布をワーク参加システム

2月の組織報告 総供給高 633,685,889円

総組合員数 41,543人(班 5,102人 個別 20,153人 デポー 11,543人 経済共済 4,745人)

の枠組みに新設します。デポー大津ヶ丘で10月から実験取組み、3カ月間で中間点検、2019年度中に全体化をめざします。

3. 松葉町と真砂で運行している「デポーマルシェ便」を「移動販売」とし、①年老いても継続して利用でき、②業態を超えた組合員が地域で出会う場に、③地域の「買い物弱者支援事業」となる、を目的に、推進体制整備と販売人員の確保を行います。

発行 / 生活クラブ虹の街 発行責任者 / 木村庸子 編集 / 組織部

〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 tel 043-278-7671 fax 043-279-7490 <http://chiba.seikatsuclub.coop/>

★本紙は古紙再生紙、ベジタブルインキを使用。

虹の街 Facebook はこちらから→



本部 043・278・7671/ センター柏 04・7134・3801/ センター千葉 043・278・7629/ センター佐倉 043・461・7868
センター松戸 047・385・4646/ センター市原 0436・60・1583/ センターベイ 047・379・1540/ デポー真砂 043・278・0112
デポーみつわ台 043・287・2414/ デポー新松戸 047・348・1210/ デポー大津ヶ丘 04・7191・7359/ デポー松葉町 04・7134・0697
デポー浦安 047・353・0135/ デポー木刈 0476・40・6811/ デポー園生 043・290・0090/ デポーおおたかの森 04・7155・5505

生活クラブ虹の街 小規模保育おおたかの森 開園記念式典

3月24日、流山市に開園する「生活クラブ虹の街 小規模保育おおたかの森」の開園記念式典と内覧会を開催。式典には、69人が参加しました。



生活クラブ虹の街の木村庸子理事長は、「杉の床に塗られたえごまワックスがほんのり香ります。0～2歳の16人の子どもたちの小規模保育園がもうすぐ始まります。虹の街（生活クラブ千葉）として初めての子育てを支援する事業ですが、保育の特色をいかし、地域の子どもたちの育っていく場となるよう皆で支えていきましょう」と挨拶。

流山市役所子ども家庭部子ども家庭課子ども政策室長の秋谷大和さんは、「年間で4,000人の人口増で待機児童数も増えています。母になるなら流山市。というキャッチフレーズをご存知でしょうか。小規模保育おおたかの森には、保育の特色に対して保護者が期待しているようすが伺えます。4月から支援させていただきます」と挨拶されました。



生活クラブ風の村理事長の池田徹さんは、「流山（松ヶ丘）は生活クラブ発祥の地です。これからの少子化と

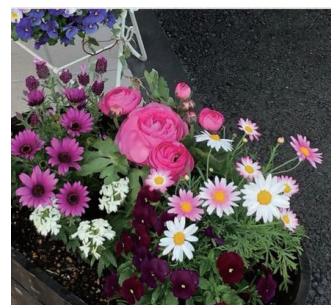


人口減少に対し危惧し、子育てのまちとして官民あげて取り組まなくてはなりません。それぞれがやれることをやっていく。ここに地域の子育ての拠点ができました。がんばってもらいたいと思います」。

木・竹製品を扱う酒井産業（株）の酒井慶太郎さんは、「木を使うと子どもたちにどんなことが起こるのか…」「小規模ですが木育レベルが高い施設です」。30mmの厚さの杉板の床、木製の机や椅子、タオルかけ、滑り台など園内は木のぬくもりでいっぱいです。「（木を使っただくことで）日本の森（産地）が元氣になります」という言葉に木曽の森への想いがつながっていきました。



田中丸園長（右）と保育の担当8人（右から木嶋浩子さん、山田理恵子さん、椎名佐和さん、亀田由紀江さん、内田裕乃さん、菅谷麗生さん、吉田侑世さん、手島雅代さんと調理の担当（左3人）高橋朱美さん、千田智子さん、渡邊有香さん。なかには、組合員という方もいて、生活クラブの食材の良き理解者でもあります



組合員で結成された「はぐくみ隊」。玄関前の寄せ植え（上）や杉材の床にえごま油を塗るなど準備万端！



デポーの2階（左半分）が生活クラブ虹の街 小規模保育 おおたかの森。右側が地域交流スペース



床の手入れ方法を打ち合わせる田中丸園長（右）と保育スタッフ

特 集

生活クラブ虹の街 小規模保育おおたかの森

保育理念

- ・子どもをかけがえのない存在として尊び、一人ひとりの子どもの権利を尊重します。
- ・一人ひとりの子どもの寄り添い、愛情をもって保育をおこないます。
- ・社会全体で子育て・子育てを支え、子どもを真ん中においた地域社会をつくります。



↑専用の調理室も準備中

内覧会で、和髙スパイス(株) 山田さん、エスケー石鹸(株) 小林さん、(株) 創土社宮地さん、木のぬくもりを確認!→



4月2日入園式を迎え、開園しました。



生活クラブ虹の街の保育の特色

食育

生活クラブの食材を使った、和食中心の「一汁三菜」を基本に、手づくりの安心安全な給食。1階テポーでは、生協ならではの食材に触れ合う体験を通して学びます。

木育

木製のおもちゃ・家具や床板に無垢の杉板を取り入れ、遊びや生活のなかで、豊かな感覚・感情をはぐくみます。

共育

保護者とのコミュニケーションを大切に、子どもの成長の喜びを共有し、子どもと保護者が育ちあう環境をつくります。

支え合い

地域のおおぜいの人が保育にかかわり、多くの世代の交流を通じてゆるやかなつながりをつくり、子育てを応援します。

園長あいさつ

生活クラブ虹の街小規模保育おおたかの森の園長を務めます、田中丸宏美^{たなかまるひろみ}です。

人として基礎を築く大切な時期の0～2歳までのお子さん16人を11名のスタッフでお預かりし、4月よりスタートしました(児童の定員数は19人)。

当園の特色は、生活クラブの特長をいかした上記の4つです。このような環境のなかで、一人ひとりの子どもたちの気持ちや個性を大切に、日本に昔から伝わる「人育ての唄」(『人を育てる唄』阿部ヤエ著:遠野に伝わるわらべ唄)を取り入れながら、人を感じ、自然を感じられる子どもたちを育ててまいります。

まだまだヨチヨチ歩きの保育園ですが、温かく見守っていただけるとありがたいと思っております。

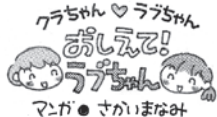
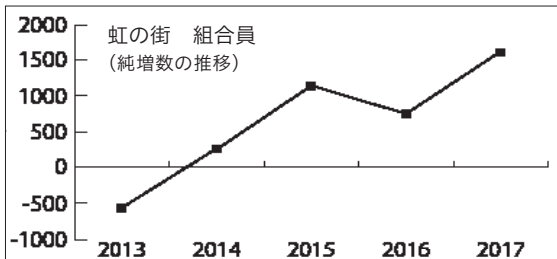
どうぞよろしくお願いいたします。



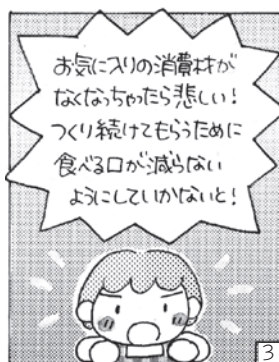
ミニ特集 仲間づくり

2018 年度の

仲間づくり

目標 (純増)
1,240 人2017 年度 (4~3月)、1,619 人の
仲間が増えました!

年 度	2013	2014	2015	2016	2017
総 数	33,636	33,891	35,033	35,784	37,402
脱退 (移動含)	3,225	2,886	2,935	2,969	3,216
加 入	2,664	3,141	4,077	3,720	4,835
純 増	- 561	255	1,142	751	1,619

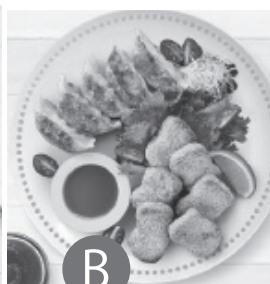
私たちは 自分たちが 食べたいものを
消費材としてつくってきたのよ!みんなで食べるこ
とで、生産者にも安心
してつくりつけて
もらえるのよね!そう。単に、人数
を増やすだけじゃ
ないんですね!!期間限定
6月30日
までご家族 (親、子、兄弟、姉妹、親戚など)、お友だちへ
ファミリー紹介キャンペーン 無 料 プレゼント!← WEB から
申し込みます。

*どのセットも組合員でない方が対象です。初回限定、1 家族 1 回限りとさせていただきます。デポーは対象外ですのでミニサンプルをご用意!



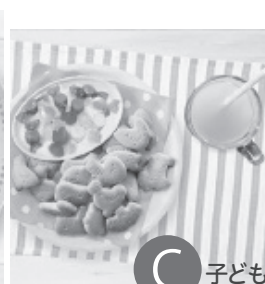
A

肉の旨さを感じるセット

飼料にまでこだわり、のびのび育った
平田牧場の豚肉ローススライス (160g)
保存料・発色剤・酸化防止剤を不使用
平牧工場のポークウインナー (100g)

B

食卓・お弁当にもう 1 品セット (冷凍)

調味料まで生活クラブのもので安心
平田牧場の豚肉を使った餃子 (10 個)
おうちでつくるようなシンプルな味わい
国産 100% のチキンナゲット (200g)

C

子どもおやつセット

着色料不使用だから安心
レモンラムネ菓子 (130g)
材料はすべて国産、甘さひかえめ
動物ビスケット (150g)
山形産のりんごをまるごと味わえる
りんごジュース缶 (195g× 2 本)

プレゼント!

お友だちが加入したら
ご本人へプレゼント!

どれか 1 つ

みかんジュース 485ml 1 本
マヨネーズチューブ 200g
全粒粉入ビスケットクリームサンド 205gクーポン券と
遊 YOU 米 (無洗米) 3 合8 月、デポー新松戸リニューアル!
おいしい幸せ 新 まつど生活平成元年、松戸市新松戸 3 丁目に生まれて、今年で 29 年目
を迎えたデポー新松戸。2 月より本格的にリニューアル活動が
スタートし、地域に生活クラブとリニューアルを伝えて仲間づ
くりをする「デポーマルシェ」を毎月開催しています。生産者
の協力による「数量限定! 100 円産直野菜販売」は毎回の目玉。他に 2 月は「さつまいも味比べ選手権」や「芋煮」のふるまい、
3 月は「ちびっこ玉入れ」や「トマト鍋」のふるまいなど、毎
回さまざまなイベントで盛り上げ、ちらしを片手に地域の方が
たくさん参加し、仲間も増えています。組合員活動が活発なデポー新松戸らしくちらしまきやマル
シェの試食作り、ポスター作りなどに、おおぜいの組合員が関
わりながら、私たちの新しいデポー新松戸に向けてすすんでい
ます。ご家族・お友だちをぜひご紹介ください!

運営委員長 田端知江

プレゼントの内容は、変更になることがあります。

お知らせ・活動ファイル

お知らせ 第 42 回通常総代会 傍聴のご案内

来る 6 月 19 日（火）、第 42 回通常総代会の開催にあたり傍聴を受け付けます。

定員：30 人

締切：6 月 1 日（金）午後 5：00

傍聴を希望される方は、各ブロック事務局までご連絡ください。

ビオサポ基礎講座



3月2日、虹の街地域交流スペース渚で「ビオサポ基礎講座」を開催しました。講師は生活クラブ連合会 健康な食推進課の猪狩裕子さんと小山舞里菜さんと、内容はビオサポの基礎知識と「わたしのビオサポノート」の活用方法について。小さなお子さん連れの方からベテラン組合員まで 34 人が参加しました。

「このトクホのお茶、脂肪の吸収を抑えると言われていますが、実際どれくらいの効果があるかご存知ですか？…実は毎食飲んでも脂肪の吸収が抑えられるのはほんの数%だけなんですよ！」と猪狩さんの話から始まりました。近年の健康ブームで世間には「健康」を謳った商品があふれています。効果があいまいなトクホの食品やサプリメント、カロリーと塩分だけに着目したダイエット本…。「何となく健康に良さそう」なイメージから健康食品・サプリメントの市場は年々伸びていますが、逆に毎日の食事は「安い加工食品」「安い外食」に頼る傾向にあります。そうすると心配なのが食の安全性です。添加物や残留農薬、遺伝子組み換え問題などを考えると、普段の食事に気を配ることが何よりも大切なのが分かります。

でも毎日バランスよく食べるのは難しい…。「そんな声から『わたしのビオサポノート』が作られたのです」と小山さん。このノートは毎日の食生活をセルフチェックしながら改善ポイントを見つけることができます。食

べたものを書き込んでいくと、自分の食生活に足りないものが見えてきます。かわいいイラストと分かりやすい説明が付いているので、これなら毎日楽しく続けられそうです。

健康管理に必要なのは、何を選んでどう食べるかきちんとした知識を持つこと、そしておらかな気持ちで実践すること。安心・安全な消費材を活用しながら健康な食生活を心がけたいですね。

消費委員 鈴木奈緒子

GMO フリーゾーン全国交流集会 in 東海



3月3・4日、愛知県名古屋市で「第13回 GMO フリーゾーン全国交流集会 in 東海」が開催されました。「“食べせん！売らせん！作らせん！” 知ることから始めよう 遺伝子組み換え食品」と題された今回の集会は、遺伝子組み換え食品知らない！キャンペーン（知らないキャンペーン）や生活クラブ愛知などからなる実行委員会により開催され、日本全国から 100 人を超える参加者が集いました。

1 日目の基調講演では、前出知らないキャンペーン代表でジャーナリストの天笠啓祐さん、遺伝子組み換え食品を考える中部の会代表の河田昌東さんによる GMO 掛け合いトーク。テーマは、「食べない、売らない、作らない、から地域自給を！」。2 倍のスピードで成長する鮭、筋肉が発達した豚など、動物食品にゲノム編集（特定の遺伝子を壊す技術）

が応用されてきていることの問題点として、成長が早い分環境中の有害物質の蓄積度が大きいこと、成長ホルモンの濃度が高い分癌細胞を刺激する危険性があること。果物の遺伝子組み換え（ほかの生物の遺伝子を入れる技術）がすすんでおり、パパイア（病原耐性）、リンゴ（変色しないようにする）、ピンク・パイナップル（リコピン増量）、バナナ（βカロチン増量）など次々開発され、流通していること。また、私たちの主食である米も収量が増える稲、スギ花粉症ペプチド含有稲などが開発され、日本でも実験栽培が行われていることなど、次々に新しい食品が開発され、食の安全が脅かされていることを知りました。お二人は「進化の過程での破壊や修復は遺伝子のなかで行われている。壊して良い遺伝子なんてない！」と訴えました。

次に、東海地域の取り組み報告として、音羽米を育てる研究会の鈴木農生雄さんの「種作りから始まる音羽米」、あいち有機野菜ネットワークの「流域自給をつくる取り組み」、遺伝子組み換え食品を考える中部の会の「GM ナタネ抜き取り活動と雑種調査」で、それぞれの取り組みや GMO フリーゾーンへの登録の話し、種子法廃止による危険性など、つくる側も食べる側も共に考えていかなければならないと感じました。集会の最後には大会宣言が行われ、GMO フリーな社会を足元から築いていくことを確認しました。

2 日目のツアーでは、フリーゾーンに賛同する愛知県豊川市の漬物本舗「道長」と、GMO フリーの不耕起（耕さない）農業に取り組む福津農園を見学。道長の工場は、とてもシンプルで、契約農家の安全な野菜とこだわりの調味料でつくる漬物は、野菜の旨みを感じとても美味でした。

福津農園は、まさに桃源郷！1 ヘクタールの農地は、農業理論や技術を離脱し自然の農に徹し 34 年間営農に励んできた松沢政満さんの、持続可能な農へのこだわりが広がり日本の原風景を感じます。雑草と共に育っている大根には、生命力と自然の強さを実感しました。日々の大量

活動ファイル

生産、大量廃棄の社会で私たちが忘れてしまっているものに気付かされ、何が大切なのか、再考するきっかけとなりました。

副理事長 並木道代

「子どものため」は誰のため

3月7日、流山市生涯学習センターにて、生活クラブ虹の街小規模保育おおたかの森 2018 年 4 月開園記念講演会として広木克行さんの講演会を開催し、員外を含む 76 人が参加しました。

広木さんは、神戸大学名誉教授で、長年にわたり保育・教育に携わり、多くの不登校の子どもたちや親、子育てに悩む親と真摯に向き合い、かかわってきた経験と、子どもをめぐる今の社会状況を踏まえて、何が本当に子どものためなのかをわかりやすく話されました。



「今は、早期教育を煽る情報が多く、子どもを立派にしたいと思う親心から、さまざまなものを与えてしまいがちです。しかし、それが本当に子どものためになるのでしょうか」と広木さん。「人間には育つ順番があり、例えば幼いころから文字の読み書きや英語などを学ぶ早期教育を受けた子どもは、過剰な刺激を受けて頭が混乱するなど発達に支障をきたす恐れもあります。むしろ、遊んで育つことが大切で、人や自然とかかわる体験が、子どもたちの感性を豊かにしてくれます」。

「私は、小学生の頃は学校で一番体が小さく、何をやっても友だちに勝てなかった。そこで自分でも一番になれるのはと考えたのが釣りでした。しかし雨の日には釣りはできないので川辺に家のある子と友だちになり、家のなかから釣り糸をたらし釣りをすることを思いついた。まさに遊びのなかで、自分で考え・行動したのです。習い事などで得られるものもきっとたくさんあるとは思いますが、どんな状況であっても自分で考え、判断していく力は大人になってからではなく、

子どもの時期に遊びのなかで身につくのです」。また、「今の時代にゲームをやめなさいということは難しい。ゲームの楽しさも知りながら、しっかりと体を動かして遊ぶ楽しさを子どもが身をもってわかることが大切です」と広木さん。

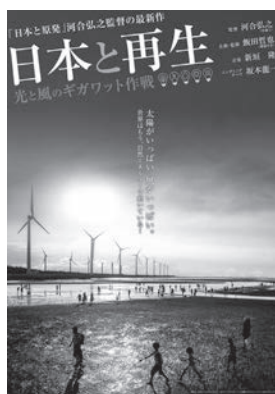
親になるのに免許はいりません。子育ては誰もが初心者から始まり、しかも子どもはそれぞれ個性があつて一筋縄ではいきません。さまざまなかたちでサインを発してくれる子どもたち。そのサインを受け止め、本当に「子どものため」になることは何かを考えることが大切だということがわかりました。

生活クラブ虹の街小規模保育おおたかの森の開園に関わる一人として、社会全体で子育てをしていくことや、子どもが主体となった保育を実践していくことの大切さを再確認しました。

福祉委員 田中寛子

『日本と再生』上映会

3月8日、『日本と再生』上映会とミニエネルギー学習会を千葉市生涯学習センターで行い、49 人が参加。前回観られなかった方にも観てほしい、もう一度観たいとの声を受け開催しました。



監督は、全国で原発差し止め訴訟を繰り広げてきた弁護士河合弘之さん。福島第一原発事故以降は、さらにその活動に力を注ぎ自ら監督となり、原発問題の映画を制作。

企画・監修は環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也さん。河合さんと 2 人で日本や世界を駆け巡り編集されたドキュメンタリー映像からは、自然エネルギーの最前線で挑戦する人々のリアルな真実の声を聞くことができます。日本の

原発事故をきっかけに、自然エネルギーへシフトしている国やすでに導入し経済が豊かになっている国、ドイツでは原発廃炉跡地にも風車を建てており、日本もできるのではないかと思います。

世界銀行は自然エネルギーには投融資するが、原発・石炭火力にはしないとし、世界動向から自然エネルギーの強さを感じたのは私だけではないと思います。

ミニエネルギー学習会では、環境委員長の船水香さんが「2016 年にパリ協定が発効され世界全体の気温上昇 2℃未満、今世紀末までに温室効果ガス排出ゼロの目標があり、火力発電の温暖化の問題や日本の化石燃料輸入額の多さ、原発事故による原発処理費用は電気料金や税金で賄われていることなど」を報告。原発は安全・安いと言われてきましたが、あのような悲惨な事故を起こしました。

「二度と同じ思いはしたくないが、自然を破壊して自然エネルギーを設置することはどうか」という質問に、「生活クラブでは自然破壊をしてまで設置することはありません。残念ながら一部の会社で見受けられ、会社の方針や考え方を私たち消費者が確認することが大事です」と船水さん。

原発反対・自然エネルギー推進を掲げ、1 人ではなく、多くの組合員と共に行動することで安心な未来をつくる一步を踏み出すことができます。すぐにもできる節電とアンペアダウン（家庭の基本料金が安くなるだけでなく、国全体の予想発電量を減らすことができるので余分なエネルギーをつくらなくて済みます）。そしてどんな電気を選ぶのが大切です。自然エネルギー比率の高い生活クラブでんき・(株)生活クラブエナジーは生活クラブがつくった電力会社。組合員の大切なお金が自然エネルギーの開発や稼働に使われることで原発反対・安心した未来をつくる 1 票になります。

書類に記入して送付するだけで契約変更できます。詳しくはセンターまで。

環境委員 深町知子

ブロック活動ファイル

* QR コードで各ブロックの Facebook へ！



柏ブロック

にじいろマルシェ

春を感じる暖かな日差しに恵まれて 3 月 17 日、デポーおおたかの森で、にじいろマルシェを開催しました。地域交流スペース「こだち」ではコミ（株）相馬英輔さんを招いて生産者交流会。大人 16 人子ども 13 人が参加者し、トマトケチャップについて学びました。カンブリア宮殿を見たという方も参加し、新たな仲間となりました。

フロアのテイastingコーナーでは「サンモツァ」デモンストレーションをワーク参加として組合員が披露！

息の合った 2 人の実演に來所した皆さんが足を止めて話も盛り上がり、組合員同士の交流の場となりました。カプレーゼの試食には、ノンホモ牛乳と酢で簡単にモッツァレラチーズ（サンモツァ）がつかれることに皆さん驚いていました。

外では、ビートグラニュー糖でつくる綿あめには子どもたちの列ができ、キャンディレイをつくるワークショップやエコ輪投げなどに、親子ワークをした組合員も参加し、楽しい時間を過



ごしました。

オープンして半年、これからもっと多くの組合員が支えるデポーとなっていく盛り上がりを感じたにじいろマルシェとなりました。

理事 東條絵美



松戸ブロック

フォーラム発表会

3 月 9 日、センター松戸でフォーラム発表会を開催し、13 人が参加しました。松戸ブロックではフォーラムメンバーを機関紙で募り、食（F）・環境（E）・福祉（C）でそれぞれテーマを決めて 1 年間活動しました。

食のフォーラムは、「すし酢」自主監査や消費材開発改善活動、利用促進の料理会について発表。特に「減塩ポークウインナー」の消費材開発提案はアンケートを取り、組合員からの反響も大きく、消費材の知識も深まりました。

メンバーからは「来年度も消費材の良さをたくさんの人に伝えたい」と。

環境フォーラムは、有害化学物質講座やせっけんの街工場見学、映画上映会などを通じて身近な環境問題を学習しました。環境問題はとても大きなテーマに感じますが「一人ひとりの小さな力をコツコツと積み上げることが大切だと気付いた」とメンバーで同じ意識を共有することができました。

福祉フォーラムは、子育てをテーマに若いママが参加し、傾聴連続講座、



虹の街の福祉への取り組み、絵本と子育てなどの学習を行いました。日頃の悩みや思いを語り合うなかで共感が生まれ、コミュニケーションと私らしい今を大切にしていこうと一歩前にすすめる活動になりました。

2018 年度の活動もとても楽しみです。

理事 深町知子



ベイブロック

親子でせっけんの街工場見学

3 月 26 日、環境フォーラムメンバー親子（大人 4 人、子ども 5 人）が手賀沼せっけん工場を見学しました。

手賀沼せっけん工場はリニューアル工事が完了し、きれいになった地域交流スペースで NPO せっけんの街副理事長の川野美津子さんから、環境や水の大切さや「せっけん」について話を聞きました。

「私たちは毎日たくさんの水を使い生活していますが、その水を汚さないように、食べ物は残さない、お皿は汚

れをふき取る、調理くずは水にぬらさない。せっけんは、有害な化学物質を含む合成洗剤とは違い、使い終わった後も 1 日で分解され魚や動物のエサになります」と川野さん。

工場長の阿部ともさんが工場を案内してくれました。「家庭から出る廃食油が回収され、せっけんの街の大きな釜のなかに集められます。せっけんは、この廃食油と苛性ソーダを反応させてつくります」。

親子の賑やかな見学会でしたが、家



庭での水やせっけんの使い方を子どもと考えるよい機会となりました。

せっけんの街から発信される環境や水・せっけんへの思いが多くの組合員へ届くように、今後も活動・応援していきたいと思います。

理事 善塔晃子

ブロック活動ファイル



千葉ブロック

年度末活動報告会 & サンクスデー

3 月は年度末。千葉ブロックでは 2017 年度の活動報告会を兼ねた組合員交流会を 5 会場で開催しました。ブロック機関紙等で参加を呼び掛け、他にも、2017 年度組合員活動に参加した活動サポーター*₁ やワーク参加者*₂ に招待状を送り、そこから全会場合わせて 20 人の参加がありました。

3 月 5 日、デポー真砂・地域交流スペース渚にて。コミュニケーションひろば講師の伊藤美絵さんを招き、薬膳料理講習会と合わせて開催し、19 人

が参加。薬膳の基本を学び、消費材の乾燥おからを随所に使ったレシピをみんなで調理し、おいしく身体に優しいランチができあがりました。薬膳ランチを食べながらの交流会では、ブロックの 17 年度の活動を伝えと共、「生活クラブとの関わり」について話し合い、生活クラブへの熱い思いをたくさん聞くことができました。

2018 年度もたくさんの参加で組合員活動を盛り上げていきたいと思えます。参加を、お待ちしております！



運営委員長 畔上久美

*₁ 活動サポーター：配達エリアでちらしの配布や企画の手伝いなど、2 時間の活動で組合員活動費 800 円が返還されます。

*₂ ワーク参加システム：デポーエリアでちらしの配布やデポーでの手伝いなど、2 時間の活動でデポー買い物券 800 円が配布されます。



佐倉ブロック

フォーラム合同発表会

3 月 13 日、志津コミュニティセンターにてフォーラム合同発表会を行い 17 人が参加しました。

佐倉ブロックでは、消費・環境・福祉・デポーの 4 つのフォーラムが活動しています。それぞれの分野に関心のある組合員がフォーラムメンバーとなり、ブロックの活動と連携してさまざまな活動をしてきました。

この日は各フォーラムのメンバーが集まり、1 年間の活動で学んだことをそれぞれ発表しました。普段、他の

フォーラムメンバーとは顔を合わせる機会がないので、お互いの活動に興味津々！フォーラム毎に、クイズも交えて趣向を凝らした発表を行い、互いの活動について詳しく知る良い機会となりました。発表の後は、フォーラム対抗かるた大会。佐倉ブロックオリジナルの『虹の街消費材かるた』で消費材について学びながら交流を深めました。

環境フォーラムには、2 年間の活動を終え卒業を迎えるメンバーが 4 人。お祝いムードもあるなか、それぞれの



活動の成果を共有できました。



2018 年度のフォーラム活動も、どうぞお楽しみに♪ 理事 松田加奈子



市原ブロック

防災食クッキング

東日本大震災から 7 年。3 月はあの時の記憶が蘇る方も多いと思います。

市原ブロックでは、自然災害に備える力、特に防災時の食事について考える機会をと、コミュニケーションひろば「パッキングクッキング」講師の高橋育代さんの、「防災食クッキング」を 3 月 14 日、木更津市の清見台公民館にて開催しました。スタッフを含む組合員が 14 人、員外 5 人が参加。関心の高さがうかがえました。

限られた水とカセットコンロ用い、

暖かい食事のとり方を学ぶことができました。アレルギーや介護食にも対応できます。おかゆやごはん、カットしたかぼちゃやカレー、やきそばやインスタント麺もとてもおいしく食べられました。避難所で配られる冷たいお弁当やおにぎりも暖かいものだと思え食欲もわき、ホッと息をつくことができると実感しました。

「お米、水を始め、非常食として備えておくといいものは、それぞれの家庭に合った必要なものを見直すことが

大切」と高橋さん。

保存期間の違いを考慮し日頃も使いながら、回転備蓄して用意しておくといよいです。

備えあれば憂いなし。今後も防災を考えるきっかけになるような機会をつくっていききたいと思います。

運営委員長 松田あすか





生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連 9 団体の総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

とんぼ舎さくらのつくる! うる!

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん臼井ビル 4 階

tel : 043-309-5811 fax : 043-460-8844

http://www.kazenomura.jp/

e-mail: info@kazenomura.jp



とんぼ舎さくらは障がいがある方の日中活動の場として、生活介護事業・就労継続支援事業 A 型*を運営しています。ご利用者（メンバー）のそれぞれの特性や能力、ニーズ、生活リズム等に合わせながら、一人ひとりの「働く」意味やあり方を考え、支援をしています。

生活介護事業では、農作業や軽作業（内職）、菓子製造、外部での販売会活動などを仕事として活動しています。

A 型の主な仕事は食品加工です。生活クラブ生協の安心・安全な食材を活かした、漬物・カット野菜の製造や精米業を行っています。

*就労継続支援 A 型(雇用型):雇用契約を結び、最低賃金以上で「労働者」として働いています。

進め! 販売促進チーム

とんぼ舎さくらの製品は、①生活クラブ生協での取り組み、②販売促進チームによる訪問販売、③とんぼ舎さくらの直売所でご利用できます。販売促進チームの訪問販売は、デポーでも実施しています。直接、組合員の皆さんに感想や応援をいただくこともあり、メンバーのモチベーションになっています。

グルメ食料品店「佐倉のごはん」

月～土（日・祝休み） 10:00～17:00

とんぼ舎さくらの製品や地場野菜などを販売する直売所を併設しています。メンバーがつくるクッキーやプリン、農産加工品、そして風の村ファームやユニバーサル農業の野菜、仕入れ商品など、さまざまなアイテムを取り扱っています。Facebook「佐倉のごはん」で、日々のお店ようすを伝えています。ぜひご覧ください。



メンバーがつくる「いちおし」商品!

① テコボコクッキー

ラ・ローズ・ジャポネ五十嵐シェフのレシピでつくる、優しい味わいのクッキーです。生地づくりから型抜き、焼き上げ、包装まで一貫してメンバーが手作業で取り組んでいます。



② オイルサーティン 姫落花・香染

自営農園「風の村ファーム」でメンバーと育てた落花生を油にし、九十九里のいわしをオイル漬けにしました。落花生油の香りが魅力です。箱入れもメンバーが一つずつ行っています。この度、はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー 2017*で奨励賞を受賞しました!



*毎年、障害福祉事業所の優れた製品を選定・表彰している。
NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター主催。

③ 漬物～空と風～

きゅうり、大根の塩漬けを脱塩し、大きさを確認しながら丁寧にカットし、タイヘイ(株)の醤油と私市醸造(株)の酢でつくった調味液に漬けこんでいます。素材のうま味と食感が楽しめる一品です。



毎月直売会を開催!

(第 4 土曜日) 4/28、5/19、6/23、～

野菜生産者の直売や JFSA による古着販売、プリンの特売や餅つきなどのイベントを開催し、地域の方に楽しんでもらえるよう取り組んでいます。

原料もつくる! 「風の村ファーム」

2 年前から、落花生や漬物原料の大根、多品種の野菜を育てています。佐倉市を中心に 9.9 反の畑で、化学肥料や農薬を使用せず取り組んでいます。畑で生き生き活動するメンバーの姿に、元気をもらっています。

開催場所・お問合せ

佐倉市生谷 1612-1 tel : 043-460-0077

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

NPOクラブ

持続可能な開発目標 (SDGs) について学びます

市民のチカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる。

【住所】千葉市美浜区真砂 5-21-12

tel : 043-303-1688 fax : 043-303-1689

http://npoclub.com/

e-mail: npo-club@par.odn.ne.jp

(認定 NPO) ちば市民活動・市民事業
サポートクラブ



講演会「そうだったのか。SDGs ～誰一人取り残さない世界をつくる」



「世界中から貧困をなくす」ことと「持続可能な世界を実現する」ことを 2030 年までにめざす SDGs。私たちが求める地域や生活のあり方とも大きく関わっています。実現のために、地域でできる取り組みを一緒に考えます。

日時：6 月 2 日 (土) 15 : 00 ～ 17 : 00 (14 : 45 受付開始)

場所：千葉市生涯学習センター大研修室 (千葉市中央区弁天 3-7-7 千葉駅徒歩 8 分)

講師：新田英理子さん

(日本 NPO センター特別研究員 /SDGs 市民社会ネットワーク事務局長代行)

参加費：500 円

定員：80 人 (先着順)

* SDGs (Sustainable Development Goals)
＝持続可能な開発目標 (2015 年に国連で採択された指標)

※当日 13 : 00 ～ 14 : 30 に認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
第 18 回定期総会を開催。会員以外の方も傍聴できます。

子ども見守りサポーター養成講座

支援が必要な子どもに気づくために何が
できるか、どんな支援が必要かを、具
体的な方法を学びながら一緒に考えます。

日時：5 月 20 日 (日)

13 : 00 ～ 15 : 30 (予定)

場所：四街道市文化センター

201・202 会議室

(四街道市大日 396)

講師：石井正宏さん

(神奈川県立田奈高校ぴっかりカフェ運営者、
NPO 法人パノラマ代表理事)

定員：70 人

参加費：無料

主催：四街道市みんなで地域づくりセンター

tel : 043-304-7065

e-mail : info@minnade.org

VAIC-CCI

生活支援サービス利用者・スタッフ募集！

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】千葉市稲毛区園生町 1107-7

tel : 043-290-8015 fax : 043-290-8016

http://www.vaic-cci.jp/

e-mail: info@vaic-cci.jp

(認定 NPO) VAICコミュニティケア研究所



私たちは、一人ひとりの暮らしを大切に、
暮らしやすい地域づくりのために、ボラ
ンティア・子育て・障がい者・地域交流
の支援、生活支援など、さまざまな事業
に取り組んでいます。



VAIC-CCI は、柏市光ヶ丘、千葉市稲毛区周辺で生活支援サービス事業を行っています。

サービス利用者募集！



「ちょっとの手助けがあれば、
楽に私らしく暮らせるんだけど…」

そんなご要望にお応えして、利用される方
の在宅での生活の自立を支援します。

- 傷病や高齢で、日常生活に不便がある
- 介護保険サービスの補完や認定待ちの間に使いたい
- 子育ての大変な時期をサポートしてほしい
- 昼間一人になる高齢の親の話し相手をしてほしい

料金1時間 1,600 円 (時間外は 2,000 円)

2つの拠点を合わせ、月 400 時間程度のケアを行っています。

こちらへお電話ください… VAIC-CCI 千葉センター (実川) 043 - 290-8017 / 柏センター (小口) 04-7170-0939

ケアスタッフ募集！

空いた時間を活用して、
家事や育児の経験を活かしてみませんか？

- ・拠点周辺にお住まいの方
- ・時給 870 円 (交通費・時間外手当で支給)
- ・研修を行いますので特別な資格は不要です

<ケアスタッフの声>



食事の支度やお買い物に同行しています。
私自身もケアの仕事や家事で疲れがたまる
ことがありますが、「あなたの声や笑顔をみ
ておしゃべりすると元気が出るわ」と言っ
ていただくと私にも元気が返ってきます。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

UWN ちば

新しい相談センターがオープン！

誰もがはたらきやすい社会をめざして。



【住所】千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304

tel : 043-306-2564 fax : 043-306-2574

http://uwnchiba.net

e-mail: info@uwnchiba.net

(NPO) ユニバーサル就労ネットワークちば

千葉市子ども・若者総合相談センター Link がリニューアルします

千葉市では、「ひきこもり地域支援センター」が約 2 年前の 2 月から相談事業を実施してきましたが、その隣で「千葉市子ども・若者総合相談センター Link」を 4 月から開設しました。これまでは、市が千葉市教育会館内で実施していましたが、今年度から当法人で受託することになり移転しました。

この相談センターでは、市内の 39 歳以下の子ども・若者のさまざまな相談を聞き、直接的な継続支援や専門家へのつなぎ (Link) をします。

子ども・若者の相談と一口に言っても、不登校やひきこもりの相談から、いじめや DV、孤立、また自分自身の悩みなど、身近な人たちにも相談できないことなどさまざまです。医療などの専門機関の支援が必要な場合は、個人情報扱いを十分配慮した上で、付添いつなぎます。

千葉市内では、Link を受託したことで子どもの相談から大人のひきこもり、就労支援まで、当法人内で切れ目なく一体的に伴走支援ができることになり

千葉市子ども・若者
総合相談センター

Link

050-3775-7007

平日 9:00 ~ 17:00



東京情報大学の学生さんが、ひきこもりなど若者の問題の現状などを取材にられました。これは千葉日報さんとのコラボ企画で、同紙の記事になるようです

ました。これからは、いろいろな専門機関とのネットワーク、リンクづくりが課題となりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。私たちのところに相談に来た方々、支援機関の方々、より多くの方々と Link します。

くらしと家計の相談室

今年度も千葉市家計相談支援事業を受託します！

生活のたて直しをお手伝いします。

【住所】千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304

tel : 043-202-1471 fax : 043-202-1474

https://kurashitokakei.jp

＊ホームページに書き込みシートがあります。



くらしと家計の相談室

2018 年度、昨年度に引き続き VAIC コミュニティケア研究所と共同企業体を結成し、千葉市から「生活困窮者自立促進支援事業（家計相談支援事業）」を受託します。

この事業では面談を通じて家計の現状や課題を明らかにし、相談者と一緒に改善計画を考えます。定期的に家計管理状況を確認したり「キャッシュフロー表」で長期的な見通しを示したりします。

所持金がない、仕事がない、債務が返せない等、目の前にある不安を取り除きながら、相談者に寄り添い自立を促していきます。

生活クラブ虹の街では通常の相談・貸付事業とは別に、昨年度 51 件の家計相談を担当しました。

生活困窮者自立支援制度：2015 年 4 月創設。生活保護を受給する手前の困窮者の自立を後押しする目的で自治体が総合相談窓口を設置。ワンストップ窓口で、さまざまな悩み相談を受け付け、プランを作成し支援する制度。

事例 1

失業し、自立支援窓口相談。介護福祉分野の「求職者支援訓練」を受講し月 10 万円の給付金を得ながら修了。希望の介護施設に就職を果たした。その間、家計相談を実施、食費や交際費に浪費傾向を発見。支出計画を立て、日々の家計表をチェックして収入のなかで生活する習慣を身につけた。趣味や仕事の学習に意欲をもつことが、浪費防止に大切なことをわかってもらえた。

事例 2

家賃や光熱費を滞納。携帯電話が止まり失職。就職活動も困難な状況で相談に。家計簿をつけてもらうと被服や外食などの浪費が多いことが判明。アリエッティ基金を使って携帯電話を開通し就労もできた。一般的な収支割合を示したところ、浪費が改善され、貯金もできるようになった。しかし転倒して大怪我。再び家賃滞納で相談に来られた。幸いすぐに仕事を再開できたので相談室の貸付を利用して住まいを守ることができた。

＊事例は本旨を損なわない範囲で改変しています。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

W.C o連合会

これからもずっとメッシーちゃんと共に

ワーカーズ・コレクティブで暮らしをデザイン

【住所】 柏市十余二 380-97

tel & fax : 04-7134-0072

http://www.ac.auone-net.jp/~r11/wco.html

e-mail: wcochiba@s2.dion.ne.jp



(NPO) ワーカーズコレクティブ
千葉県連合会



メッシーちゃん

現在の日本の食は、家庭で調理する「内食」に代わって、外で食べる「外食」や調理済みの惣菜を持ち帰って食べる「中食」の割合が増加しています。

私たち食のワーカーズ・コレクティブでは、素材と手作りにこだわり、食べる人の身になって健康につながるおいしい食事を提供できるよう、心をこめてつくっています。

2015 年には全国の食のワーカーズで共通のキャッチコピー「いのちをつなぐおいしい食事」とイメージキャラクター〈メッシーちゃん〉を作成し、ワーカーズの食の価値を広く伝えるためのブランド化に取り組んできました。

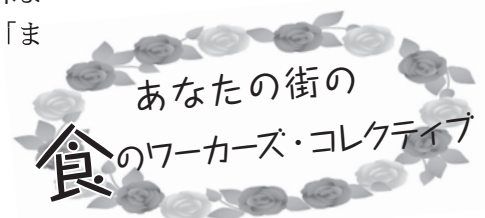
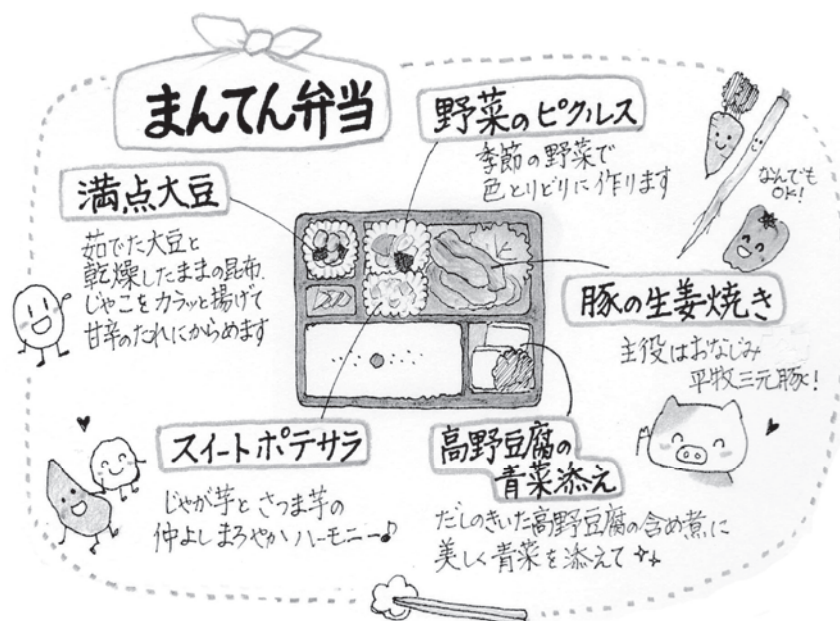
昨年度は、首都圏 4 つの連合組織の各食のワーカーズ・コレクティブそれぞれが、どこでも同じものがつくれるように〈メッシーちゃん弁当〉の献立・レシピをつくり、4 種類のメッシーちゃん弁当ができました。

神奈川では鶏肉を主役に「ぜいたく鶏丼」、東京では人気の鶏のチリソースをメインに「みんな大好き弁当」、埼玉では昨年全国会議の会場となった北海道をアピールできる消費材を使い、「ちゃんちゃん焼きどさんこ弁当」、そして千葉では豚肉の生姜焼き・スイートポテサラ・野菜のピクルス・高野豆腐の青菜添え・満点大豆をバランス良く入れ、味よし！彩りよし！すべて満点！！の「ま

んてん弁当」をつくり、ワーコレを広めるイベント等でアピールしました。

生まれたての、メッシーちゃん弁当を今後はもっともっといろいろな場で広め、より多くの人にワーカーズの食を知ってもらい、「つくり手確かな安心素材・そのひと手間を大切に・これからもずっと伝えたい味」を合言葉に、メッシーちゃんと共においしい食をお届けしていきたいと思います。各デポーでも販売しています。ぜひ食べてみてください。

食部会 大久保千穂



- ① 紙ふうせん
- ② あい惣菜 柏
- ③ あい惣菜 流山

- ④ 菜の花
- ⑤ 自然の食卓
- ⑥ 樹 グラッセ
- ⑦ 回転木馬
- ⑧ ハーブ
- ⑨ マドレーヌ 市川
- ⑩ 樹 ボナベティ
- ⑪ 樹 さくらいろ
- ⑫ からころ

イベント・情報

ブロック企画

カモミールクッキング

5月17日(木) 10:00～13:00

センター松戸

託児あり 定員 15 人 参加費 300 円

担当: 鈴木 047-385-4646

春巻きの皮でお好み焼き!

～いろいろなアレンジを教えてもらおう!～

5月17日(木) 10:00～13:00

土気あすみが丘プラザ 料理実習室(千葉市)

託児あり 定員 20 人 参加費 300 円

担当: 塚本 0436-60-1583

大津ヶ丘コミュニティカフェ

5月17日(木) 10:00～11:30

デポー大津ヶ丘 地域交流スペース陽だまり

担当: 児玉 04-7134-3801

みんなで話そう自然療法

5月17日(木) 10:00～12:30

南部梅郷公民館(野田市)

託児あり 参加費 300 円(ゲスト 500 円)

担当: 児玉 04-7134-3801

ベビーキッズ撮影会

5月17日(木) 10:30～12:00

13:00～15:00

デポーおたかの森 地域交流スペースこだち

参加費 200 円(ゲスト 300 円)

担当: 児玉 04-7134-3801

『気』のせい!で身体が変わる!

5月18日(金) 10:00～12:00

デポーおたかの森 地域交流スペースこだち

託児あり 参加費 200 円

担当: 児玉 04-7134-3801

オレンジカフェ風の村

5月22日(火) 13:30～15:00

生活クラブ風の村流山 地域交流スペース

参加費 100 円

担当: 児玉 04-7134-3801

簡単!楽しい!スクラップブックング

5月24日(木) 10:00～13:00

デポー松葉町 2 階カフェスペース

託児あり 参加費 300 円(ゲスト 400 円)

材料費 500 円(希望者は追加可能)

担当: 児玉 04-7134-3801

ヒメトレ

5月25日(金) 10:00～13:00

櫛のホール(野田市)

託児あり 参加費 300 円(ゲスト 500 円)

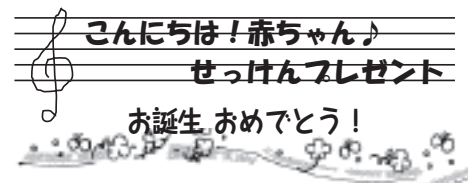
担当: 児玉 04-7134-3801

春の花壇整備

5月28日(月) 10:00～12:00

デポー大津ヶ丘 店頭前花壇

担当: 児玉 04-7134-3801



後藤 美尋(みひろ) ちゃん	2017.03
前野 航輝(こうぎ) くん	2017.07
小川 敢太(かんた) くん	2017.09
清水嶋 創至(そうし) くん	2017.09
堀川 明日香(あすか) ちゃん	2017.10
佐々木 楓実(ふみ) ちゃん	2017.12
藤田 侑花(ゆか) ちゃん	2018.01
岡田 のどか ちゃん	2018.02
石田 美希(みぎ) ちゃん	2018.02

募集: 信州飯綱高原でジュース用トマトの収穫

トマトジュースの原料(加工用トマト)の生産を、
組合員が手伝っていることをご存知ですか?



日程: 8月16日(木)～18日(土)(2泊3日)

参加条件: 経験・性別不問。

組合員及びその家族で 18 歳以上
(2000 年 3 月以前の生まれ)

*生産者の指示に従い日程期間中作業を行う体力
があり、最低限の団体行動がとれること。

作業時間: 3 日間合計で実働 12 時間(途中休憩あり)

1日目/午後のみ、2日目/午前と午後、3日目/午前のみ

(長靴・羽持持参。多少の雨でも作業します。激しい雨天の場合は中止
もありその場合の報酬はありません)

参加報酬: 日給 4,000 円(このうち生産農家負担 2,500 円)

自宅から集合先までの往復交通費は一律 1,400 円支給

集合先から現地まで(高速バス使用)の往復交通費と宿泊料は自己負担なし

集合解散: 新宿駅西口 7:00 頃集合、19:30 頃解散の予定

募集人数: 虹の街(生活クラブ千葉)より 10 人(応募者多数の場合は抽選)

「計画的労働参加」は対価のある「労働」で、必要人数を確保する必要があります。
抽選に外れた方はキャンセル待ちとさせていただきます。

申込締切: 5月31日(木) 厳守 申込書は 15 ページ



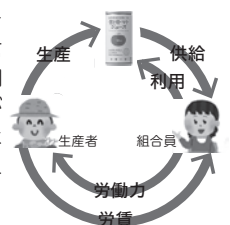
6 月中旬に結果をお知らせし、
参加決定者には詳細を連絡します。

問い合わせ: 事業部 岡崎
tel: 043-278-7693



計画的労働参加って?

原材料に国産トマトを使った生活クラブの「信州トマトジュース」。国産加工用トマトの生産が減るなか、生活クラブは国産トマトの生産を支えるために組合員がトマトの定植や収穫作業を引き受ける「計画的労働参加」の取り組みを 1995 年から行っています。加工用トマトの主産地のひとつ、長野県飯綱高原で、春の定植と夏の収穫期に実施します。「援農」とは異なり、参加者はきちんと対価を受け取り、「生産者」としての役割を直接担うことが大きな特徴です。昨年夏の収穫作業も 8 月中旬～下旬に、のべ 120 人近くの組合員が参加しました。この取り組みによって形成された人の繋がりは、生産の原動力となっています。



クラちゃんラブちゃん&申込書



コルザ 5 月号

申込書・申請書・アンケート

配達時または、デポーフロアに提出してください。

組員氏名	組員番号		申込締切
参加希望は○	信州飯綱高原でトマトの収穫 計画的労働参加	参加希望者 お名前 (組員との続柄) 参加希望者 お名前 (組員との続柄)	5/31
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請 (太枠の組員氏名と番号を記入してください)			1歳の誕生日の前日までに申請
赤ちゃんの なまえ	ふりがな (男・女)	赤ちゃんの生年月 20 年 月 生まれ	
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。(はい・いいえ)			
コルザアンケート 組員の皆さまへ。 コルザ作成の参考に させていただきます。	コルザ__月号を読んで ①よかった・おもしろかった記事 タイトル「 」__ページ ②その理由など ③その他 ご意見・ご希望など		

*せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。

対象は組員のお子さんで、1歳未満の赤ちゃん。1歳の誕生日の前日までに申請してください。

*いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。

*企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

本部宛 トマト収穫 / 岡崎 コルザ / 組織部 鈴木

事務局記入欄 センター / デポー、配達コース () - ()

5 月のデポー



イベント案内

デポー新松戸、8月
リニューアルオープン！

デポーのお休み：6月は10日（日）

生マグロ解体 5/19 新松戸

*水揚げがない
場合は冷凍
まぐろが入荷

5/26 浦安

5/28 真砂

日	月	火	水	木	金	土
5/6	7 せっけんの街の日 →大津ヶ丘、園生は8 *せっけんの街のせっけんなど 5% off	8	9	10 黒豚の日	11 母の日フェア（～13）	12
新生酪農ウィーク（～13）						ほうきね牛入荷
3 Week 3 meat キャンペーン①鶏肉（～13）						
13 冷凍品お買い得 2パック以上で 5% off	14	15 新茶まつり・田中製餃ウィーク（～20）	16	17 平牧金華豚の日	18 デポーまつり Wポイントデー	19
消費材紹介キャンペーン①（～20）						
20	21 化粧品ウィーク（～27）	22	23 朝採り野菜の日	24	25 初夏スタミナ&涼味麺フェア	26 ほうきね牛入荷
消費材紹介キャンペーン②（～27）						
3 Week 3 meat キャンペーン②豚肉（～27）						
27 日曜市	28 静岡生産者ウィーク（～6/3）	29	30	31	日曜市（5/27） ・ジュース類は通常の箱値引きよりさらにお得 ・日曜青果市で季節の野菜果物もお得 レシピ提案：牛肉と豆苗のオイスターソース炒め 牛バラ薄切り・焼肉のたれー 5% off	
消費材紹介キャンペーン③（～6/3）						

3 Week 3 meat キャンペーン 昨年大好評企画

カンブリア宮殿で紹介された

- ① 5/7～13は鶏肉「丹精國鶏」のおすすめアイテム
② 5/21～27は豚肉「平牧三元豚」のおすすめアイテム

10% off

♥ ビジョンフード鶏肉の日（5/7～13）

期間中、週1回その特徴やおいしい食べ方などを試食とともにご紹介。*デポーによって開催日が異なります。

新生酪農ウィーク（5/7～13）牛乳と乳製品の生産者。

牛乳を中心にヨーグルトやアイスクリームなどをご紹介！

母の日フェア（5/11～13）5/13は母の日。

お刺身とワインでお祝い！旬のかつおも入荷予定！
冷凍まぐろ・ワイン

5% off

消費材紹介キャンペーン①（5/14～20）週替わり

プレーンヨーグルト・あじ開き3枚・焼売

10% off

新茶まつり・田中製餃ウィーク（5/14～20）新茶の季節！

「わたらい特選一番茶上煎茶 80g」や一口羊羹などがお得。
お茶と羊羹で初夏を味わいましょう♪

消費材紹介キャンペーン②（5/21～27）週替わり

飲むヨーグルト・スパゲティ 1.6mm
国産十割こうじみそ カップ・信州たのめの里天然水 2ℓ

10% off

♥ ビジョンフード豚肉の日（5/21～27）

*デポーによって開催日が異なります。

化粧品ウィーク（5/21～27）

ハイム化粧品とルリーフェ・ピマシェを紹介します。
ハイム化粧品のおすすめ品

10% off

初夏スタミナ&涼味麺フェア（5/25-26）夏に向けてスタミナ作りを！

キャンペーン中の豚肉がおすすめです。
手延べそうめんや万能つゆなど

5% off

消費材紹介キャンペーン③（5/28～6/3）週替わり

牛乳たっぷり加糖ヨーグルト・国産ブレンドなたね油丸缶
信州たのめの里天然水 500ml

10% off

静岡生産者ウィーク（5/28-6/3）

干物の奥和など、静岡県内の提携生産者とその消費材をご紹介。

5/18・19

デポーまつり・・・ Wポイントデー

人気消費材の生産者に直接会える。県内野菜生産者が野菜と一緒に登場するデポーも。ワーコレのお惣菜も入荷。試食いろいろ！2日間ポイント2倍！初めてのの方にデポーを紹介するチャンスです！お友だちと一緒にどうぞ。

デポー	5/18	5/19
真砂	コーミ：トマトケチャップ AIC：千葉の野菜	美勢商事：冷凍餃子 長野森林組合：えのき茸茶漬など
浦安	タイヘイ：丸大豆醤油 三里塚農法の会：野菜	黒姫和漢研究所：黒姫山草茶 丸きんまんじゅう：冷凍スイーツ
みつわ台	千葉県漁連：魚加工品・缶詰 丸きんまんじゅう：冷凍スイーツ	栃木開拓：牛肉 AIC：千葉の野菜
新松戸	丸善食品工業：カレールー 日東珈琲：森のコーヒー	小野田製油：ごま油 平田牧場：豚肉
大津ヶ丘	ベストアメニティ：雑穀 オルタトレッドジャパン：エコ シュリンプ	米澤製油所：なたね油 井筒屋：手延べうどん
松葉町	トーエー食品：ノンカップ麺 さんぶ野菜ネットワーク：千葉 の野菜	共生食品：冷凍うどん タイヘイ：丸大豆醤油
木刈	全国農協食品：冷凍米飯・食品 村悟空：千葉の野菜	コーミ：トマトケチャップ AIC：鶏卵
園生	岩手阿部製粉：冷凍和菓子 立野園芸出荷組合：千葉の野菜	オーエスケー：乾しいたけ 丸和食品：豆腐・がんもどき
おおたかの森	和高スパイス：スパイス類 秋川牧園：冷凍焼き鳥	新生酪農：アイスクリーム 日東珈琲：森のコーヒー



デポーカードの提示でポイントがつかます。500ポイントで500円のクーポン券発行。デポーカードは、班・個別配達の方もつくれます。